

○経済財政運営と改革の基本方針2014 ～デフレから好循環拡大へ～ (抄)
(平成26年6月24日 閣議決定)

第1章 アベノミクスのこれまでの成果と今後の日本経済の課題

4. 日本の未来像に関わる制度・システムの改革

(望ましい未来像に向けた政策推進)

人口急減・超高齢化への流れを変え、望ましい未来像に向けた改革・変革を進めていくことにより、以下のような道筋が描かれる。

① ～ ⑤ (中略)

望ましい未来像とそれに至るまでの道筋を共有し、現在必要となる取組について、局所的な対応に陥らないよう、優先度に留意しながら、全体として推進していくことが重要である。デフレ脱却・経済再生に向けた動きを確実にするとともに、その先を見据え、社会保障制度と財政の持続可能性を確保しつつ、地域社会の再生、発展を可能とし、日本経済の持続的・安定的な成長を実現していく観点から、人口急減・超高齢化の克服に向けた諸課題への対応にスピード感を持って取り組んでいく時である。とりわけ、地域の活力を維持し、東京への一極集中傾向に歯止めをかけるとともに、少子化と人口減少を克服することを目指した総合的な政策の推進が重要であり、このための司令塔となる本部を設置し、政府一体となって取り組む体制を整備する。

○「日本再興戦略」改訂2014 ー未来への挑戦ー (抄)

(平成26年6月24日 閣議決定)

第一 総論

Ⅱ. 改訂戦略における鍵となる施策

4. 地域活性化と中堅・中小企業・小規模事業者の革新／地域の経済構造改革

(2) 地域の経済構造改革

(中略)

活力ある地方の実現無くして成長戦略の成功は無い。そのためにも、上で述べた考え方に基づき、地域の活力を維持し、東京への一極集中傾向に歯止めをかけるとともに、少子化と人口減少を克服することを目指した総合的な政策の推進が重要である。このための司令塔となる本部を設置し、政府一体となって取り組む体制を整備することとする。